令和8年度北海道指定有形文化財特別展

# K446遺跡の擦文文化

## ～ ロクロ製土器にみる一千年前の交流 ～




K446遺跡は昭和53（1978）年に北区麻生町7丁目にある市営麻生球場の建設の際に発掘調査された遺跡です。遺跡からは7～13世紀に北海道を中心とする地域で営まれた擦文文化の遺物が出土し、本州との交流の状態を知るうえで貴重な資料であるとされ、昭和55（1980）年に「札幌市K446遺跡出土の遺物」として北海道指定有形文化財に指定されました。

この特別展では、指定された遺物のうち本州からもたらされたロクロ製土器にスポットをあて、市内の他遺跡から出土したロクロ製土器と一緒に展示するとともに、その特徴などをパネルで紹介します。

会　　場　：　埋蔵文化財展示室企画展コーナー（札幌市埋蔵文化財センター内）
（札幌市中央区南22条西13丁目）

期　　間　：　令和8（2026）年9月4日（金）～11月30日（月）

休 館 日：令和8（2026）年9月21日・22日・23日、10月12日、11月23日
開館時間：午前8時45分～午後5時15分まで

主　催：札幌市埋蔵文化財センター
問合せ：011-512-5430（平日午前8時45分～午後5時15分）

SAPPORO

入場無料

04-D05-26-1849
R8-4-396